

# 常任委員会レポート

## 総務産業常任委員会

### 6次産業・ごみ焼却場建設を視察研修

本委員会は11月5日・6日、所管事務調査を実施しました。

11月5日は長野県木島平村の6次産業施策について研修を実施しました。

木島平村では生涯教育で「農村文明創出」を指し「農の拠点施設」を運営する農村木島平株式会社を設立。

旧日本デルモンテ木島平分工場の敷地と建物を改修し、豊かで、働きたいのある村を目指しています。

新施設には農産物直売所・特産品加工所・レストラン・カフェ・都市と農村の交流拠点などが配置され、村の活性化の中心的役割を担っていくこととなります。大きな目標は一同に加工し、付加



木島平村役場の玄関にて

価値を高め、村内外に販売開させる物流拠点にすることです。

また、食育や農育関連の催しなどにも利用できるロビー空間も用意し、多様な世代の人々が活躍できるステージも設置するよつです。

現在、整備工事中ですので、活性化への効果は未知数ですが、目標に向けて実行する熱意は見習うべきものがありました。



佐久市役所内 新ごみ処理組合の説明を聞く

11月6日は佐久市他3町の新クリーンセンター建設概要について研修を実施しました。

佐久市では、新クリーンセンター・温浴施設整備に係る現在までの経緯について説明を受けました。

説明では、建設について住民との合意形成が難しいこともあるため、建設候補地及び周辺関係地区住民との協議や説明会等を行っていただけ多く開催し、より丁寧に行うことが重要であると強調されています。

そのことにより、「施設建設はしようがない。」と考える容認論が大勢を占め、表立った反対行動は無いとのことでした。

運転開始は平成31年4月予定です。(日坂)

## 福祉文教常任委員会

### 少子化対策と福祉サービスの視察研修

本委員会は10月15・16日に行政視察調査を実施しました。

#### 1 若者定住に向けた施策と少子化対策について

##### 長野県下條村

長野県の最南端下伊那郡のほぼ中央に位置し、総人口約4000人、高齢化率30.9%。自然豊かな山村です。

若者定住に向けて村営住宅の建設を開始し、国の補助金をあえて使わず村の単独事業として実施。入居条件を設け、家賃も格安に設定し、入居者を募りました。同時に子育て環境の整備も進め、子ども医療費の無料化や保育料の引き下げ、子育て支援基金の創設など創意工夫を凝らし、早期から実施したことが現在に至っています。

そして現在は、全国の自治体関係者から「奇跡の村」とまで呼ばれ注目

されています。

そこには次のようなキーワードが隠れていました。

・人里離れた山奥に「奇跡の村」が出現するまで健全財政で少子化知らず。

・出生率は、全国平均1.39人を上回る1.92人で、とるべき道を愚直に進んだ結果。

・補助金をもらっても結局借金が残る。

・若者定住を図る様々な施策で元気な村に。

・無駄を削ればお金は捻出できる。

・村に「助け合いの精神」を呼び戻す住民自らボランティア活動。

最終的には一人の卓越したリーダーの力では無く住民の総力によって作り上げられたものであると感じました。

#### 2 福祉サービスの向上について

##### 長野県川上村

長野県の東南端に位置する川上村は、総人口4700人、村の基幹産業は野菜づくりであり、千曲川源流の里です。豊かな水に育まれ、美しいまでの高原野菜が栽培されています。

福祉サービスの一環とし、ヘルシーパーク構想が策定され、保健・福祉・地域福祉を一元化するることによって、健康で生きがいのある福祉社会づくりを目指し、ヘルシーパーク中央棟が完成した。既設の診療所・デイサービスセンターと併せ住民サービスの拠点となっています。

基本理念は「一人の住民をヘルシーパーク全体で支えよう」という考え方です。(田中)



川上村 ヘルシーパーク